

Intravitreal Therapy for Uveitic Macular Edema-Ranibizumab versus Methotrexate versus the Dexamethasone Implant: The MERIT Trial Results

Multicenter Uveitis Steroid Treatment Trial (MUST) Research Group, Writing Committee:; Nisha R Acharya, Albert T Vitale, Elizabeth A Sugar, Janet T Holbrook, Alyce E Burke, Jennifer E Thorne, Michael M Altaweel, John H Kempen, Douglas A Jabs

Ophthalmology. 2023 May 24;S0161-6420(23)00254-3.

doi: 10.1016/j.opthta.2023.04.011.

ぶどう膜炎に伴う黄斑浮腫は視力障害の原因となり、再発を繰り返すことも多い合併症です。後部テノン嚢下へのトリアムシロン注射は我が国でも広くおこなわれていますが、眼周囲よりも硝子体内への注射の方がより有効であることも示されています。この論文では、硝子体内へ投与した際の、ラニズマブ、メトトレキサート、デキサメタゾンの有効性、安全性について検討していますが、グローバルな 33 施設において 194 名（225 眼）を対象として 3 薬剤を無作為割付をして前向き試験として実施されました。ちなみにそれぞれの投与量はラニズマブは 0.5mg、メトトレキサートは 400 μ g、デキサメタゾンは 0.7mg でした。結果としては、各群共に黄斑浮腫の改善（中心網膜厚の減少）がみられたが、デキサメタゾンにおいて他剤よりも有意な改善が得られ、視力も改善したとのこと。ただし、眼圧上昇はデキサメタゾン群でより多くみられていました。この研究で用いられたデキサメタゾンは糸状の生分解性注射製剤 Ozurdex であり、2009 年に FDA で認可され世界で広く使われていますが、日本で認可されていないのが残念でなりません。

（文責：北海道大学 南場研一）